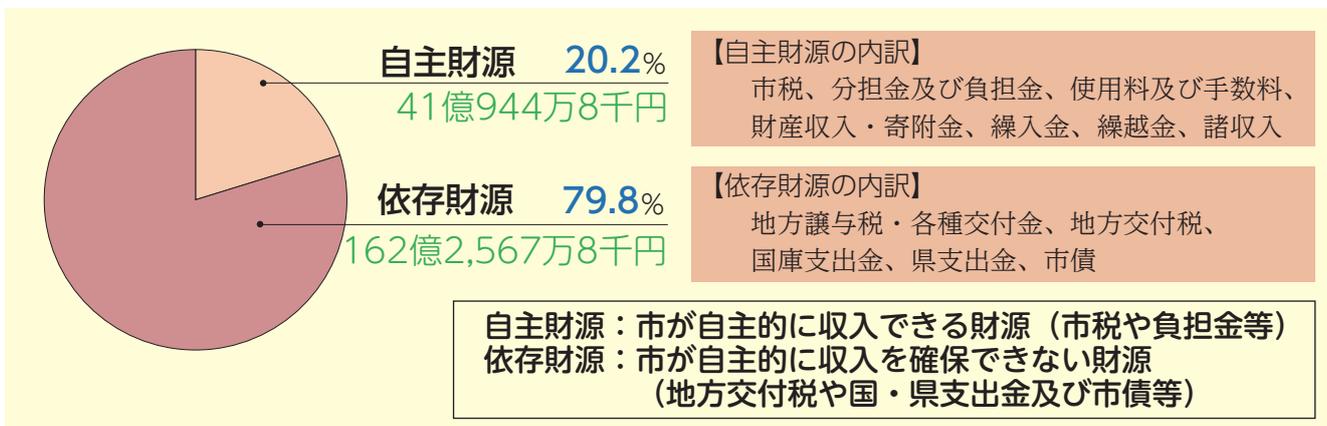
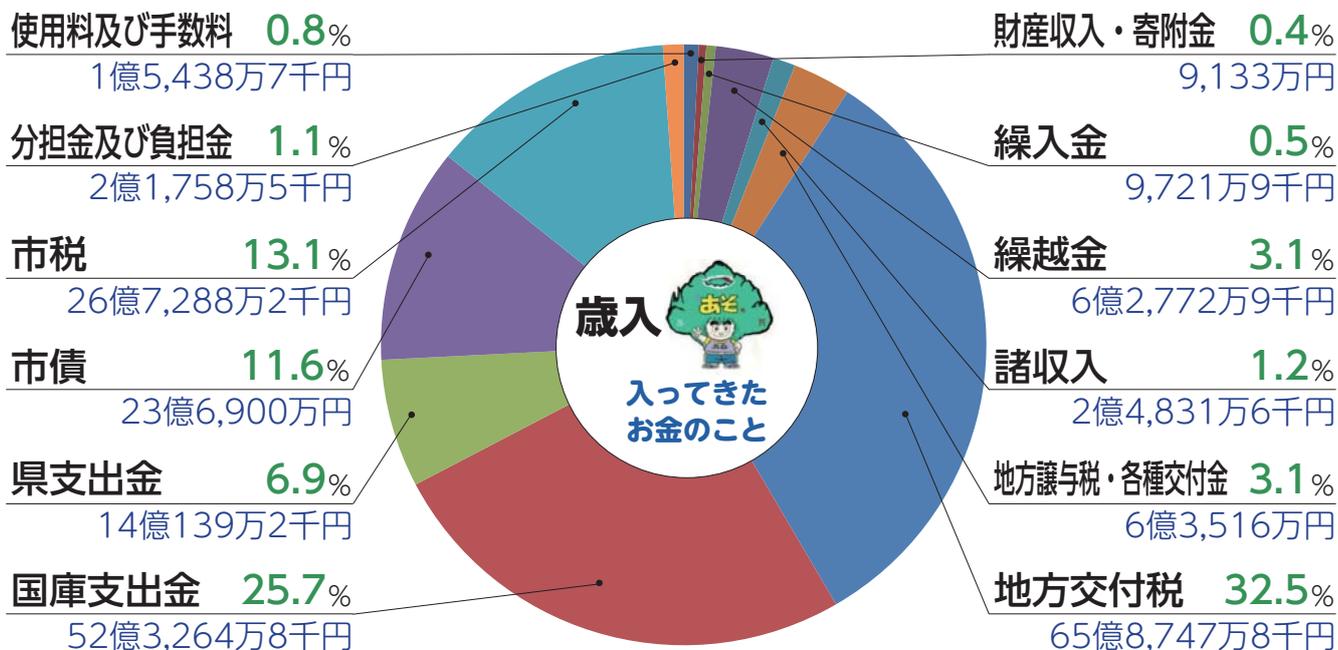


決算報告

平成22年度一般会計及び特別会計・企業会計の決算が、市議会9月定例会で承認されました。皆様から納めて頂いたお金や国・県から交付されたお金がどのように使われたのかお知らせします。

一般会計【歳入】

歳入決算額：203億3,512万6千円



主な収入

〔市税〕

市民税・固定資産税・軽自動車税など、市民の皆様が納めていたお金です。
 平成22年度は、個人所得の減等から407万7千円の減と、2年連続して減となっています。

〔地方交付税〕

全ての市町村で一定水準の行政サービスが受けられるよう、地方公共団体間の不均衡を調整し、財源を保障するために国から交付されるお金です。
 阿蘇市の歳入で最も大きな割合を占め、貴重な財源となっています。

平成22年度は、6億4,058万1千円の増となっていますが、今後の交付額は国の動向により流動的です。

〔国・県支出金〕

特定の事業を行うために、国・県から交付される負担金や補助金などのお金です。

平成22年度は、昨年度からの繰越事業に充当する国庫補助金等により大幅に増加しています。

〔市債〕

特定の事業を行うために、国及び金融機関等から借入れたお金です。借入金は、後年度に亘り返済していくこととなります。

一般会計の決算額

歳入総額 203億3,512万6千円 (対前年比31.7%増)

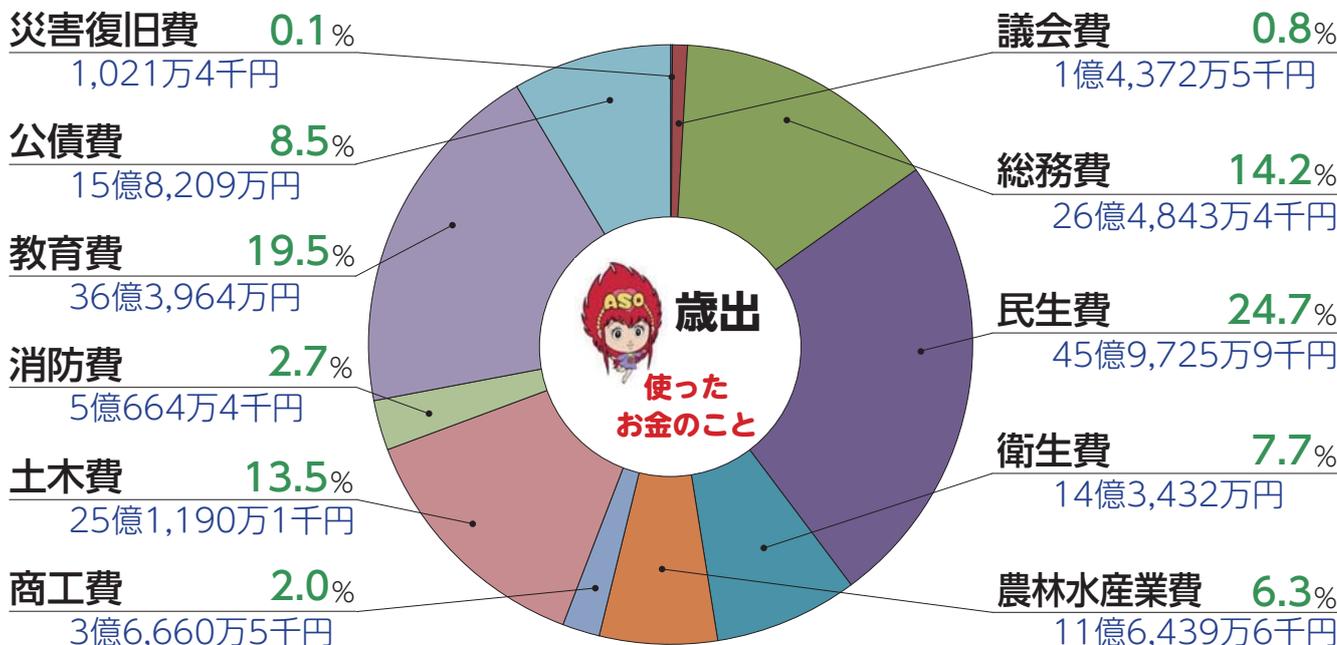
歳出総額 186億5,222万8千円 (対前年比25.6%増)

歳入歳出差引額 17億2,989万8千円

※前年度からの繰越事業が増えたため決算額が増加

一般会計【歳出】

歳出決算額：186億5,222万8千円



主な歳出

【総務費】

市有財産の維持管理や戸籍・徴税・選挙・監査など、市の総括的な事務に使ったお金です。

主な事業としては、光ネットワーク整備事業、携帯電話等エリア整備事業、国勢調査事業、市議会議員等選挙などを行いました。

【民生費】

子どもや高齢者、障がいのある方等の福祉の充実に使ったお金です。

主な事業としては、高齢者などへの各種給付事業、保育所運営事業（子育て支援事業）、乳幼児及び児童生徒医療費助成事業、生活保護事業などを行いました。

【衛生費】

市民の皆さんの健康管理や生活環境の保全に使ったお金です。

主な事業としては、予防接種事業、高齢者・母子検診事業、ごみ収集及び処理事業、合併浄化槽設置事業などを行いました。

【農林水産業費】

農林畜産業の振興に使ったお金です。

主な事業として、農道及び林道整備事業、農地・水・環境保全向上対策事業、中山間地域等直接支払事業、口蹄疫緊急対策事業、家畜導入事業、間伐材利用促進事業、地籍調査事業などを行いました。

【商工費】

商工業の振興や観光振興に使ったお金です。

主な事業として、商店街活性化事業、観光客誘致事業、地域振興イベント事業などを行いました。

【土木費】

道路・河川の整備や市営住宅の整備・運営などに使ったお金です。

主な事業として、阿蘇市幹線道路整備事業、市道新設・改良・維持事業、公営住宅整備事業、阿蘇駅周辺整備事業、阿蘇西部地区玄関口施設整備事業などを行いました。

【消防費】

消防や防災施設の整備など防災活動に使ったお金です。

主な事業として、阿蘇広域行政事務組合負担金（消防費）、防火水槽等設置事業、全国瞬時警報システム整備事業などを行いました。

【教育費】

小中学校、社会教育、社会体育などに使ったお金です。

主な事業として、阿蘇地区統合中学校整備事業、各小中学校施設整備、文化財保護事業、各種文化振興事業、世界文化遺産登録推進事業などを行いました。

【公債費】

市の借金を返済するために使ったお金です。

なお、この返済金の一部は後年度の普通交付税として国から措置されます。

特別会計

市が特定の事業を行うときに、
経理を明確にするため一般会計と区分した会計

●坂梨財産区特別会計

事業内容	旧坂梨村内の簡易水道等の管理事業
歳入額	1,875万6千円
歳出額	493万6千円
歳入歳出差引額	1,382万円

●古城財産区特別会計

事業内容	旧古城村内の簡易水道等の管理事業
歳入額	1,804万9千円
歳出額	688万5千円
歳入歳出差引額	1,116万4千円

●中通財産区特別会計

事業内容	旧中通村内の簡易水道等の管理事業
歳入額	2,370万4千円
歳出額	1,065万1千円
歳入歳出差引額	1,305万3千円

●宮地財産区特別会計

事業内容	旧宮地町内の所有財産等の管理事業
歳入額	17万1千円
歳出額	14万9千円
歳入歳出差引額	2万2千円

●古城・中通地区簡易水道事業特別会計

事業内容	簡易水道整備借入金の償還事業
歳入額	339万8千円
歳出額	339万円
歳入歳出差引額	8千円

●診療所特別会計

事業内容	波野診療所の運営事業
歳入額	1億1,519万5千円
歳出額	1億1,385万円
歳入歳出差引額	134万5千円

●阿蘇山観光事業特別会計

事業内容	阿蘇山公園道路やユースホステルの運営等の事業
歳入額	1億3,846万円
歳出額	1億3,116万8千円
歳入歳出差引額	729万2千円

●下水道事業特別会計

事業内容	公共下水道の整備や促進を図る事業
歳入額	9億7,107万6千円
歳出額	9億2,616万8千円
歳入歳出差引額	4,490万8千円

●国民健康保険事業特別会計

事業内容	自営業者等が加入する医療保険を運営する事業
歳入額	40億1,085万5千円
歳出額	38億359万1千円
歳入歳出差引額	2億726万4千円

●老人保健事業特別会計

事業内容	高齢者にかかる医療を運営する事業 (平成22年度で特別会計廃止)
歳入額	2,056万円
歳出額	2,056万円
歳入歳出差引額	0円

●介護保険事業特別会計

事業内容	高齢者等への介護サービス給付事業
歳入額	26億7,601万9千円
歳出額	23億4,733万9千円
歳入歳出差引額	3億2,868万円

●後期高齢者医療事業特別会計

事業内容	後期高齢者医療制度の事業 (平成20年4月開始)
歳入額	3億6,184万1千円
歳出額	3億5,203万2千円
歳入歳出差引額	980万9千円

公営企業会計

水道事業や病院事業のように市が経営する企業の会計
(収益的収支と資本的収支があり、今回は収益的収支のみ掲載)

●水道事業会計

収益的収入額 (水道料金等)	4億8,744万2千円
収益的支出額 (運営費・維持管理費等)	4億140万8千円
収益的収支	8,603万4千円

当年度純利益 8,603万4千円

●阿蘇中央病院事業会計

収益的収入額 (医療収入等)	10億6,960万7千円
収益的支出額 (運営費・医療費用等)	11億6,308万6千円
収益的収支	△9,347万9千円

当年度純損失 9,347万9千円
※当年度純損失9,347万9千円により、
累積赤字は4億392万4千円になります。

健全化判断比率及び資金不足比率の公表

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」（平成19年6月公布）により、財政状況を統一的な指標で判断するために設けられた「健全化判断比率」「資金不足比率」の算定及び公表が義務付けられています。

法律では、健全化判断比率・資金不足比率が基準以上となった団体は、財政健全化計画や財政再生計画を策定し、早期の財政改善に向けた対応を行うこととされています。

平成22年度決算に基づく阿蘇市の健全化判断比率及び資金不足比率は下表のとおりで、いずれの比率も早期健全化基準を下回る結果となりました。

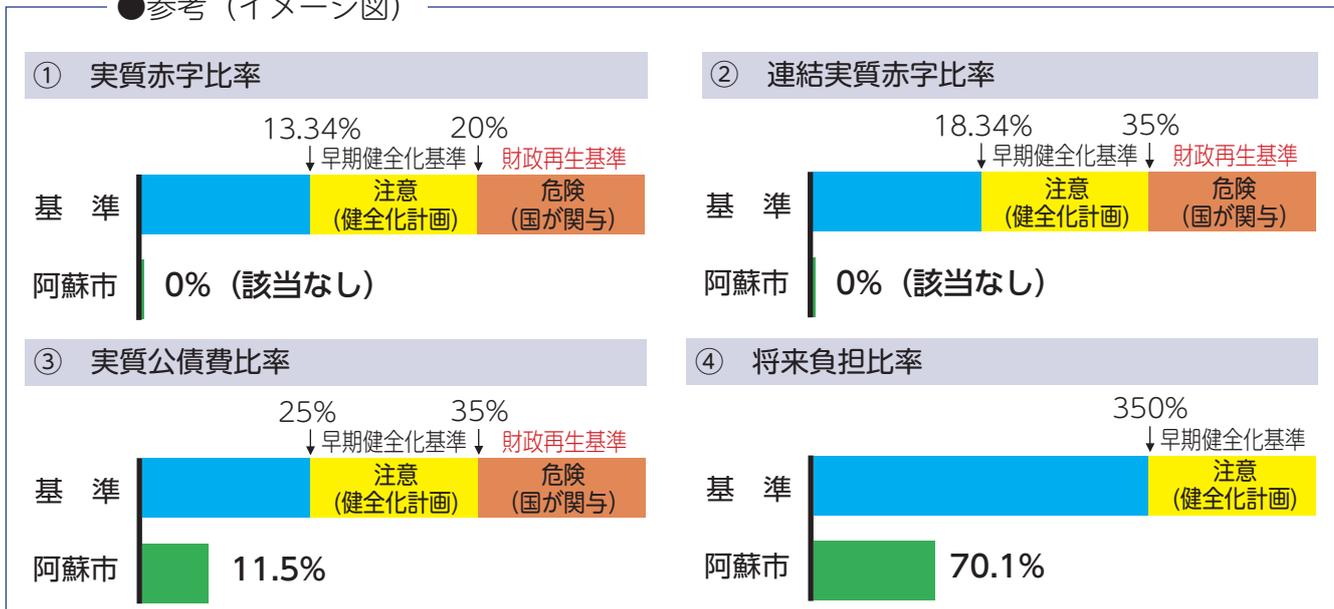
(1) 健全化判断比率

指標名	阿蘇市	早期健全化基準	財政再生基準	用語解説
実質赤字比率	— (—)	13.34%	20.00%	標準財政規模に対する一般会計等に生じている赤字の割合
連結実質赤字比率	— (—)	18.34%	35.00%	標準財政規模に対する公立病院や下水道等公営企業を含む全会計に生じている赤字の割合
実質公債費比率	11.5% (12.4%)	25.0%	35.0%	標準財政規模に対する借入金（地方債）の返済額（公債費）の割合
将来負担比率	70.1% (84.1%)	350.0%	—	標準財政規模に対する借入金（地方債）など現在抱えている負債の大きさの割合

※1 下段の（ ）内は前年度数値です。

※2 実質赤字比率及び連結実質赤字比率は、赤字ではないため数値は表記していません。

●参考（イメージ図）



(2) 資金不足比率

特別会計の名称	阿蘇市	経営健全化基準
水道事業会計	—	20.0%
阿蘇中央病院事業会計	—	
下水道事業会計	—	

※各会計ともに資金不足ではないので数値は表記していません。